

新型コロナウイルス感染症に打ち克つ！

新型コロナウイルススワクチンの

接種準備を始めています

(※この内容は1月末時点の国が示す情報を基にしています)

市では、新型コロナウイルススワクチン接種実施本部を2月1日に設置し、市民の皆さんが円滑に接種できるよう準備を進めています。

ワクチン接種は、接種を希望する市民のうち、国が定める優先順位の高い人から順次行うこととなります。ワクチン接種にはクーポン券(接種券)が必要です。クーポン券は下記の封筒で、まずは高齢者に3月中旬以降に送付する予定です。その他の人には準備が整い次第、送付する予定です。詳細が決まりましたら、あらためてお知らせします。

●国が定める優先順位

- ①高齢者(65歳以上の人)
- ②基礎疾患を有する人
- ③高齢者施設等で従事している人
- ④その他の人

●接種費用…無料(全額公費)

●接種回数…2回

(接種間隔は接種するワクチンによって異なります)

接種開始日、予約方法、接種会場・時間などについては、接種の準備体制や国からのワクチン供給量などが分かり次第、あらためてお知らせします。

●ワクチン接種の基本的な流れ

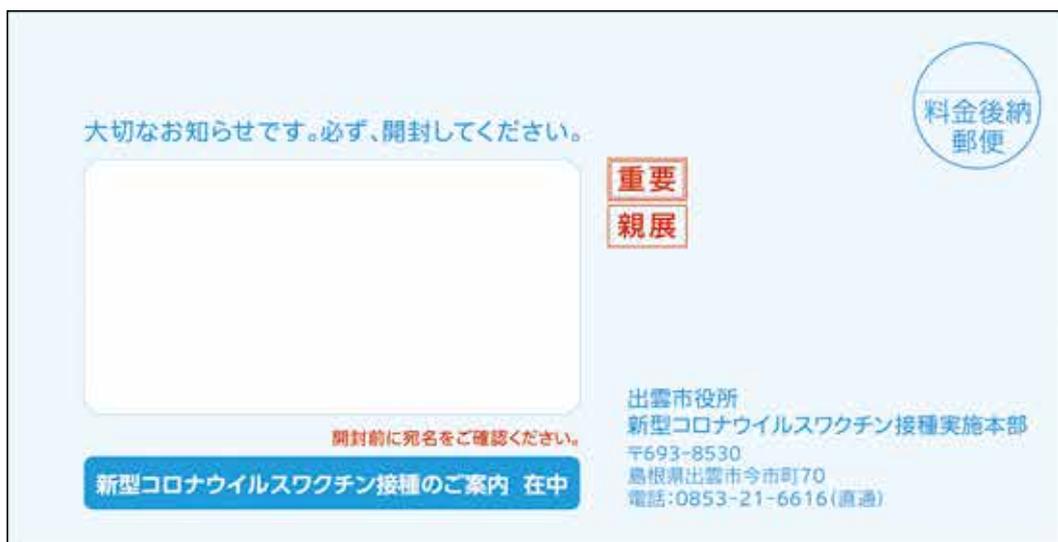
市からクーポン券が届く

→ 接種日を予約

→ 接種会場で接種

●クーポン券送付用封筒

クーポン券は薄水色の封筒で、まずは高齢者に3月中旬以降に送付する予定です。届きましたらワクチン接種までなくさないように大切に保管してください。



ワクチンで安心できるように知ってもらおう

どんなワクチンでも、副反応が起こる可能性があります

ワクチン接種後は、接種部位の腫れ・痛み、発熱、頭痛などの副反応が起こることがあります。治療を要したり、障がいが残るほどの重度なものは、極めて稀ではあるものの、何らかの副反応が起こる可能性を無くすことはできません。

日本への供給を計画している海外のワクチンでは、接種部位の痛みや、頭痛・倦怠感・筋肉痛などが報告されています。

新型コロナワクチンの安全性の確保を最優先にしています

ワクチンの承認にあたっては、有効性だけでなく、どのような副反応が起こりうるかなど安全性についても、海外のデータだけでなく、国内のデータも用いて確認します。また、ワクチンの承認・接種開始後には、副反応を疑う事例を収集し、これらを専門家が評価します。



首相官邸
ホームページから



主に発症や重症化の予防が期待されています

さまざまなワクチンが、感染症に対する免疫をつけたり、免疫を強めるために接種されています。これにより、個人の発症・重症化予防や、社会全体での感染症の流行を防ぐことが期待されています。

新型コロナワクチンについても、重症化を防いだり、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐことが海外では明らかになっており、イギリス・アメリカなどで緊急接種が行われています。

医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります

新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。特効薬も開発中の段階です。こうした中で、ワクチンが実際に使われるようになれば、接種した人が感染したとしても、重症化を防ぐことが期待されます。

また、多くの人に接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されます。

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために…一人ひとりができる対策を続けよう

新型コロナウイルスとは

ウイルスは、粘膜などの細胞に付着して入り込み増えます。物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいますが、24〜72時間程度、感染する力を持つと言われています。

流水と石けんでの手洗いや手指消毒用アルコールによって感染力を失わせることができます。

どうやって感染するの？

飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。

他の方がその部分に触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

飛沫をとばさない

マスクの着用
大声で会話しない



接触感染にも注意を

手洗い・消毒をこまめに



マイクロ飛沫が浮遊

適切な換気をする

